



2月17日 「2023年3月ダイヤ改正等について」の申し入れ  
東地申第35号

【我孫子運輸区】団体交渉を行う(その1)

### 【共通】

1. 2023年3月ダイヤ改正の目的及び我孫子運輸区が担当する常磐快速線・成田線の主な変更点を明らかにすること。特に、列車本数を削減した根拠を示し、サービスを低下させないこと。

回答:2023年3月ダイヤ改正においては、安全・安定輸送を確保することを前提に、お客さまの利便性向上、および輸送体系の見直しや輸送力の適正化を目的としている。なお、列車ダイヤの設定は、お客さまのご利用状況や車両運用、設備条件等を考慮し作成している。

### 組 合

- ◆常磐線はどのような削減を行ったのか。
- ◆何か変更点はあるか。
- ◆削減はサービスの低下に繋がる。
- ◆10両編成の変更はあるのか。
- ◆M電はどうか。
- ◆準備時間は変わるのか。
- ◆列車の削減については引き続き、お客さまの推移を見ていかなければならない。

### 会 社

- ◆優等列車・品川駅の延長・柏駅の停車で利便性の向上を図っている。夕・夜間帯に於ける平日・休日・土休日の朝時間帯の削減を図っている。朝通勤帯は平準化をしている。
- ◆現場で行路を作成している。
- ◆本数が減ることでサービス低下は否めないが、混んでいるところは削減していない。利用状況を見て判断していく。
- ◆平日、深夜帯、23時台に10両編成が連続しているところで削減しており、15両編成にしている。
- ◆一部、編成増強を行っている。
- ◆すでにお知らせしているが、5月末に機器更新、出勤時間と朝の点呼時間で1分伸びる。
- ◆引き続き、ご利用状況をみていく。

2. 2022年3月ダイヤ改正以降に事象が多く発生した経緯に踏まえ、2023年ダイヤ改正に関わる教育をこれまで以上に丁寧に行うこと。

回答:引き続き必要な教育・訓練は実施していく。

### 組 合

- ◆乗務効率が上がっていて疲労度が上がり、事象が増えている。
- ◆事象の周知はされるが、周知と教育は違う。
- ◆今後、駅の立ち番が削減され、教育を受けるのに車掌で言えば、変わるタイミングで定例訓練が無い。周知になっている。

### 会 社

- ◆停止位置不良が起きているのは把握している。
- ◆区所の弱点を皆で取り組んでいきたい。
- ◆スケジュール感をもって丁寧に教えていく。
- ◆現場に声を届けていくのと、不安であれば指導に聞いて頂きたい。

➤ その②へつづく



2月17日 「2022年3月ダイヤ改正等について」の申し入れ

東地申第35号

【我孫子運輸区】団体交渉を行う(その2)

3. 15両編成7分、10両編成5分の折り返し時間を作業実態に即して拡大すること。回送列車から営業列車になる列車は到着後に「運転士のドア扱い及び行先・案内設定」を行うことから折り返し時間を拡大すること。

回答:これまでの役割分担にとらわれない柔軟な働き方の実現により、安全・サービスレベルの向上を図っていく考えであり、運転士による始発列車のドア扱い等は、引き続き実施していく考えである。なお、必要な停車時分は確保しており、引き続き状況は把握していく。

## 組合

- ◆回送で到着後、営業列車になる。ドア扱い・案内設定等で時間が厳しい。拡大は出来ないか。
- ◆何か変わる条件はあるのか。
- ◆作業実態に合っていない。乗務員の努力で成り立っている。
- ◆引き続き実態を見て、検討すること。

## 会社

- ◆作業量が多い認識である。遅延が常態化すれば考えていく。
- ◆条件で言うと、ワンマン化などで足りないところがあれば考えていく。
- ◆トライアルもしていて、列車の遅れがあれば考えていく。

4. デイタイムの取手駅5番線の交差支障で遅れが発生することから改善を図ること。

回答:引き続き、状況は把握していく考えである。

## 組合

- ◆実態を見てどうだったのか。
- ◆取手駅手前で警戒現示を出さないように我孫子駅で時間を調整できないか。
- ◆成田線で遅れやすい列車があるが、把握はしているのか。

## 会社

- ◆実際に見て大きな遅れはない。5番線の到着が連続し、間隔が狭い認識はある。
- ◆引き続き状況をみていく。
- ◆遅れる認識はない。成田線はATOSではないので見ることが出来ない。遅れは報告してほしい。

5. 成田線における以下の区間運転時分を改善し、実態に即した列車ダイヤとすること。

- ① 上り下総松崎～安食間の運転時分を4分00秒以上に設定すること。
- ② 上り小林～木下間の運転時分を4分15秒以上に設定すること。
- ③ 上り新木～湖北間の運転時分を3分30秒以上に設定すること。

回答:引き続き、状況は把握していくとともに、関係支社に要請していく。

## 組合

- ◆3分45秒ではきつい。改善できたのか。
- ◆分岐器の速度制限が変わり、速度が下がっている。
- ◆トータルではなく、各駅で見て頂きたいし、直すタイミングはいつか。

## 会社

- ◆今回大きな変更はないが、千葉支社と検討していく。
- ◆小林駅進出が5キロ・湖北駅の進入も5キロ下がっているのは、千葉支社に伝える。
- ◆首都圏本部としては、実態把握をしたうえで改善が必要と判断をすれば、タイミング的には手前のダイヤ改正で行う手法を考える。

➤➤その③へつづく



2月17日 「2022年3月ダイヤ改正等について」の申し入れ  
東地申第35号 【我孫子運輸区】団体交渉を行う!(その3)

**【運転士】**

1. 入出区便乗を活用し、効率性と働きやすさの両立を図ること。

回答:列車ダイヤの設定や効率的な運用を勘案し、行路を作成している。

組 合	会 社
<ul style="list-style-type: none"> <li>◆松戸車両センターの入出区便乗は可能か。</li> <li>◆朝の出区便乗はあるのか。</li> <li>◆職場によって違うのか。現場の意見を聞いて欲しい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆特に制約はないので、可能である。</li> <li>◆安定を考慮して設定している。遅れた場合に乗務員不在が出る所は設定していない</li> <li>◆区所の判断による。</li> </ul>

2. 輸送の安定性の観点から回2284H は15両編成で入区させること。また、ホーム上で分割作業を行う車両運用を計画した理由を明らかにすること。なお、17行路及び18行路が分割後の入区担当をすることで17行路の睡眠を目的にした乗務の中断が短くなるため、改善を図ること。

回答:列車ダイヤの設定や効率的な車両及び乗務員運用を勘案し、乗務割交番作成に基づき行路を作成している。

組 合	会 社
<ul style="list-style-type: none"> <li>◆変更できない理由は。</li> <li>◆課題はあるのか。安定性の視点も入れているのか</li> <li>◆早い段階から調整は出来ると思うが。</li> <li>◆引き続き、調整は行うこと。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆分割後の設定だが、睡眠時間の拡大を含めて考えている。安定性も含めている</li> <li>◆早い段階から調整に向けて行ってきたところであるが、調整がつかなかった。</li> </ul>

3. 以下の行路の食事を目的にした乗務の中断時間を拡大すること。なお、行路設定 については労働時間 A の中断を加味し実質的な食事時間を確保すること。

- ① 平日17行路(夕食)
- ② 平日20行路(夕食)
- ③ 平日21行路(夕食)
- ④ 平日25行路(夕食)
- ⑤ 休日17行路(夕食)
- ⑥ 平日30行路(朝食)

回答:乗務割交番作成に基づき行路を作成している。

組 合	会 社
<ul style="list-style-type: none"> <li>◆①～⑥変更で来たところはあるのか。</li> <li>◆できなかった所は、引き続き拡大に努めること。</li> <li>◆提案段階で、品川センターで食べる設定になっていた。我孫子で食べる設定にして欲しい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆今の案では、拡大出来たところは拡大している。</li> <li>◆引き続き出来るところは改善していく。</li> <li>◆話は承った。</li> </ul>



2月17日 「2022年3月ダイヤ改正等について」の申し入れ  
東地申第35号 [我孫子運輸区]団体交渉を行う!(その4)

4. 働きやすさの向上の観点から以下の行路の勤務終了時間を早めること。①33行路(平日・休日)

回答:列車ダイヤの設定や効率的な運用を勧案し、行路を作成している。

組 合	会 社
<ul style="list-style-type: none"> <li>◆変更はあるのか。</li> <li>◆明けは13時を超えないように作成していただきたい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆提案後、職場で調整している。</li> <li>◆可能な限り調整していく。</li> </ul>

5. 上野駅11番線のATS-P地上子が長期間に渡って使用中止になっていることから、上野駅到着の10両編成については12番線を使用すること。

回答:地上子の修繕に向け関係箇所と調整を行っており、引き続き状況を把握していく考えである

組 合	会 社
<ul style="list-style-type: none"> <li>◆復旧はするのか。10両編成だと、Pが投入されない。一步間違えると冒進もあり得る。</li> <li>◆復旧しては、故障が続いている。</li> <li>◆安全に関わる保安装置であり、何かしら対策を立てることが必要である。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆完全復旧に向けて行っているところである。</li> <li>◆部品の取り換えも含めて行っている。</li> <li>◆復旧見込みが立たないのであれば、何かしら対策は立てていく。</li> </ul>

### 【車掌】

1. 事業便業務を行う列車の停車時分を作業実態に即して拡大すること。特に交換駅以外 の各駅については15秒増とすること。

回答:引き続き、状況は把握していく考えである。

組 合	会 社
<ul style="list-style-type: none"> <li>◆変更はあるのか。</li> <li>◆事業便だと通常と同じ停車時間では足りない。箱を開けるのに時間がかかる。</li> <li>◆鍵を開けるのに苦戦する。他の所も同じ箱で行っているのか。</li> <li>◆引き続き検討を強く要請する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆事業便については現行と変わらない。</li> <li>◆千葉支社に伝えているが、遅れはATOS線区外なので、具体的な遅れが出ていない為、間に合う認識である。箱や鍵の取り換えが可能かも伝えていく</li> <li>◆千葉支社管内では、同じ箱で取り扱っているところもあるが、引き続き伝えていく。</li> </ul>

2. 三河島駅下りホームのITVの視認性に課題があることから停車時分を40秒に拡大し、安全な作業が出来る環境を整えること。

回答:引き続き、状況は把握していく考えである。なお、必要な停車時分は確保している。

組 合	会 社
<ul style="list-style-type: none"> <li>◆変更はあるのか。</li> <li>◆実際に見てどうか。</li> <li>◆問題意識は職場から伝わっているのか。</li> <li>◆視認性は重要であり、見づらいのは危険であるとの認識はあるのか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆変更はない。停車時分の遅れは出ていない。視認性については引き続き状況を把握していく</li> <li>◆屋根がついていないが、安全には支障は出ていないと考えている。</li> <li>◆太陽の位置で、若干見づらい場面があると思う。</li> <li>◆認識はしている。立ち合いをしているので進んでいる。</li> </ul>



2月17日 「2022年3月ダイヤ改正等について」の申し入れ  
東地申第35号

【我孫子運輸区】団体交渉を行う!(その5)

3. 433Hで実施するとされている3/4閉スイッチ扱いを2023年3月ダイヤ改正以降は行わないこと。

回答:車内温度維持を行うことで快適な車内空間を提供し、お客さまサービスの向上を目的としており、引き続き実施していく考えである。

組 合	会 社
<ul style="list-style-type: none"> <li>◆433Hで行わなければならないのか。</li> <li>◆ドア扱い・案内設定で3分を切っているのが現状である。やらなくてもよいのではないか。</li> <li>◆実際は3分を切る状況である。乗務員の判断でよいか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆サービスの観点から行っている。</li> <li>◆時間が押し迫っているのは認識している。3分を切っている場合は乗務員の判断による。</li> <li>◆時間が押し迫っているのは認識している。3分を切っている場合は乗務員の判断による。時間ギリギリでやる必要はない。指定をしていくか今後、検討していく。</li> </ul>

4. 以下の行路の睡眠を目的にした乗務の中断時間を拡大すること。

①66行路(平日・休日)②67行路(平日・休日)

回答:乗務割交番作成に基づき行路を作成している。

組 合	会 社
<ul style="list-style-type: none"> <li>◆①② 変更はあるのか。</li> <li>◆日勤に付ける持ち替えも可能か。</li> <li>◆引き続き検討すること。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆他の行路に比べると時間が短くなっている。少しでも改善できるように努めていく。</li> <li>◆可能ではあるが、車掌での日勤の頭に付けるのはあまり望まない方も多い。</li> </ul>

5. 職場で指導されている「発車ベルをワンコーラス以上鳴らすこと」を改めること。なお、改めない場合は停車時分を拡大すること。

回答:安全安定輸送の確保および安全性の向上を目的として訓練を実施したものである。なお、必要な停車時分は確保しており、引き続きお客さまの乗降状態を確認し発車ベルを取り扱うこととなる。

組 合	会 社
<ul style="list-style-type: none"> <li>◆ワンコーラス鳴らすのが目的か。</li> <li>◆訓練後のテストの虫食い問題で、ワンコーラスを入れないと×になる</li> <li>◆ワンコーラスに拘ると弊害がでる。停車時分を変えていかないと無理である。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆ワンコーラスを鳴らすのが目的ではない、状況状態を確認するための、手段である。</li> <li>◆一定程度の鳴動が必要であり、1つの手段としている。</li> <li>◆指導副長とも検討していく。臨機応変に対応するのが車掌の役割だと考える。</li> </ul>

6. 取手駅、松戸駅で作業指示がされている「火器点検」については役割が終了したこと から2023年3月ダイヤ改正以降は作業指示を行わないこと。

回答:引き続き、状況は把握していくとともに、関係箇所と調整を行っていく考えである。

組 合	会 社
<ul style="list-style-type: none"> <li>◆ダイヤ改正後、指示はどうか。</li> <li>◆どうしていくか判断して、周知すること。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆確認はしている。綾瀬・我孫子で調整しながら進めていく。</li> </ul>